

「兜町ブランド」は  
生き続ける。

# 中小地場証券が 醸し出す、 このまち特有の空気。



## 八尾和夫

東京証券信用組合理事長

Kazuo Yao

an article from Yasuhiro Matsuzaki

やお かずお

1951年奈良県生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業後、75年日本銀行入行。従業員組合副委員長、在中国日本大使館一等書記官、高松支店長、仙台支店長を歴任。2005年全国信用協同組合連合会専務理事、11年中央労働金庫の常勤監事を経て、15年より現職。

**東**京証券信用組合は、証券や同  
関連業界で金融事業を展開す  
る業域信組(注1)として一九五五(昭  
和三十年)に設立されました。規模に  
かかわらず組合員となる道が開かれ  
ており、大手から中小まで多くの証  
券会社が顧客に名を連ねています。  
貸出は資金繰り融資、いわゆる証券

金融が主体。朝いちばんの「今日中  
〇億円」といった融資申し込みに即  
断・即決、無担保で応じることもち  
ります。それも平素からの密接なコ  
ミュニケーションがあつてこそです。  
まさに証券業界のための信組です  
が、二〇一五(平成二十七年)の理事  
長就任時には業界での知名度が今ひ

とつであることに危機感を覚えまし  
た。当信組を知ってもらおうと、ま  
ずは日本橋日枝神社の山王祭で神輿  
を担ぎました。その後「知って貰え  
ば使つて貰える」をキャッチフレー  
ズに各社訪問を繰り返して、現在は顧  
客の裾野が広がっています。

証券会社でも地場は特徴をもつた  
経営で生き残りをかけています。外  
国株の販売に力を入れる会社もあれ  
ば、端株(注2)を専門に取り扱う会  
社もあります。兜町というまちが醸  
し出す特有の雰囲気は、こうした地  
場の中小証券によつてもたらされて  
いる面が大きいように思います。

中小地場証券はお互いにライバル  
ですが、一方で社長どうしの仲間意  
識や連帯感が強い。昼食を取る場所  
もおおよそ決まつており、何時にど  
この店へ行けば誰に会えるかがわか  
ります。(日銀本店のある)日本橋本  
石町にはなかつた雰囲気です。

各社のトップには公私にわたり懇  
意にしてもらっています。極東証券  
の菊池廣之会長(証券三田会会長)か  
らは「母校野球部の今年の調子はど  
うか」と電話がかかってくることも  
あります。また、地場証券には創業  
家出身の経営者が多い。世間では二  
代目や三代目批判もありますが、こ

のまちのトップにはオーラがありま  
す。幼少期から自分が会社を継ぐの  
だという気概があるのでしよう。

当信組は東京・中央区に根づいた  
「地域信組」の顔も持ちます。日本橋  
兜町いぶ推進協議会の手掛ける地域  
応援プロジェクト「兜LIVE!」  
には全面的に協力しています。地元  
の活性化は事業基盤の安定にもつな  
がるからです。二十〜三十代の女性  
が中心となつて進めている「きんゆ  
う女子」(注3)の取り組みとの連  
携も強化しています。投資に興味を  
持つ若い女性を増やしたいとのコン  
セプトに大いに共鳴しています。顧  
客の高齢化に直面する証券界にとつ  
て大変意義のある活動です。

「KABUTO ONE」の竣工をきつ  
かけに、多くの人が兜町へ足を運ぶ  
ことを期待しています。ただ、高層  
ビルが林立すると、まちの特色が出  
にくくなつてしまふ。だからランド  
マークのような高い建物はひとつで  
十分かな(笑)。

### 東京証券信用組合

■中央区日本橋茅場町  
1-5-8東京証券会館3階  
TEL03-3669-0381

注1 信用組合には地域信組、  
業域信組、職域信組の三種が  
ある。

注2 通常100株単位が売買  
単位だが、それに満たない1  
株単位の株式。少ない額で株  
式投資が可能となる。

注3 株式会社TOE THE LINE  
が運営。